

★アジはオモリ130号の、いわゆるピシアジ。オモリが重い分、慣れなくても、潮が速くても、しっかりアジを寄せてくれる



▲釣りに慣れている人は一気に加速?



▲男性陣は放っておいても上達します



▲コツが分かると連発でした
▲魚をつかむときは迷わずタオル



▲課題は船酔いとの戦い?



▲この形、間違いなくおいしいアジ
▼アジで本領発揮



★アジタチリレーではアジと共通のタックルで手軽にテンビン仕掛けで狙うのがおすすめ

仕立船でフルレンタル釣行!

▲レンタルタックルを頼んでおくと、ロッドキーパーやコマセ、テンビン、オモリ、エサなどを完全に設置した状態で用意してくれる
▶アジ狙いに切り替えるときはテンビンとピンカゴと仕掛けをセットしてくれる

▲船に弱い人にも心強い大型船

▲タチウオ仕掛けはテンビンの先にセットするだけの状態
▲希望すれば、船長が出船前に釣り方をレクチャーしてくれる



●三浦半島走水港・高取丸 高取 秀和船長



▲子供のころに経験しているとすぐに勘が戻ります



▲マサバも回り始めている。漁場でいえば松輪サバと同じ

前には良型アジを余裕で連発。船釣りは本当にスゴイ、アジはエライ、タチウオは謎だ、と感心する7時間の船釣り体験の詳細と料金は、本編にて。(詳細は54ページ参照)

最初は港から10分以内の走水沖、水深50〜70メートルで朝方がチャンス。タチウオをテンビン仕掛けて狙い、苦戦しながらも良型を確保。続いては仕掛けだけを交換してアジ狙い。猿島沖の水深40メートル前後でドトウの入れ食いを楽しんだ。

最初は電動リールの使い方が分からない人でも沖揚がき

三浦半島走水港出船 手ぶらでアジ&タチウオ釣り 釣り場は目の前アジタチリレー

●撮影 本誌編集部



▲猿島沖では良型が入れ食いに



▲7時15分に出船、港を出てすぐタチウオ釣り開始
▼電動タックルはロッドキーパーに置いたまま釣ってもOK



before



after

私オ刺身!

おねえちゃん!

釣ったなあ!

おーおー!

おーおー!

おーおー!